

# TABBA

高山市バスケットボール協会

# 広報誌

2012-04号 (No.006)

<http://tabba.jp>



2012  
ぎふ清流国体

輝けはばたけだれもが主役

高山市がバスケットボール競技の会場です!  
9月29日(土)～10月3日(水)

飛騨高山のバスケットボールを盛り上げよう!

編集・発行：高山市バスケットボール協会 広報委員会



国体の成年男子が、ぎふ清流国体の会場となる高山に住む小学生と、その保護者にバスケットボールの楽しさを伝えにきました。子どもたちは、普段接しないような大きな選手とバスケットボールをし、驚きと楽しさを感じながらプレーしていました。また、保護者の方々も、いつもはこどものプレーを見ているだけですが、この日は一緒になって汗を流し、楽しむことができました。

TAKAYAMA AMATEUR BASKETBALL ASSOCIATION

## 一般競技の部



高山リーグ2011を無事終えることができました。今大会より、参加チームから帯同審判を出していただくことで、ルール面からもレベルアップを考えました。当初、どのチームからも帯同審判を出すのが可能かどうかや公正なジャッジができるかなど心配もありましたが、帯同審判の方々には責任をもってやっていただき、問題なく大会運営が行えました。また、社会人リーグですので、選手たちは、仕事もあり、家庭もあります。限られた時間の中で、大人が楽しんでプレーする姿や、お父さんのプレーを見る子ども姿からは、微笑ましいものを感じます。小・中学生や高校生のバスケットとは、また違った面白さがありますので、お時間の都合がございましたら、ぜひ一度試合をご覧ください。



### 大会結果



優勝 ROMPS  
準優勝 高山クラブ  
3位 Bloods

ROMPSと高山クラブは、  
岐阜県バスケットボールクラブ連盟にも登録しています。  
県大会でも活躍を期待しています。  
県大会の結果は、  
岐阜県バスケットボールクラブ連盟のHPをご確認ください。  
<http://gifubasketball.com/club/>

2008年から始まったリーグ戦も本年度で、早くも5年目を迎えます。今年度は、昨年度まで活躍していたチームが1チーム解散しましたが、新たに2チームが加入し、昨年度よりも1チーム増えた7チームで高山リーグを行います。解散したチームの何人かの選手は、今年度より別のチームでプレーする人もいます。これだけバスケットを愛している人がいることをうれしく思うのと同時に、この高山リーグの存在の大きさを感じさせられます。また、今年度より参加するチームは、これまでの活動していたチームです。これまでも、チーム仲間とバスケットを楽しんでいましたが、他チームとの試合を通して楽しむことを目的に加入されました。勝つ楽しさだけでなく、仲間と試合をする楽しさも高山リーグにはあります。まだまだ高山には、仲間が集まりバスケットを楽しんでいるチームがあると聞いています。そんなチームのみなさんにも高山リーグに参加していただき、多くのチーム数で大会を盛り上げていきたいと考えています。1チームでもチーム数が増えてくれたら幸いです。興味のある方は、高山市バスケットボール協会公式サイトをご覧ください。また、近くにバスケットボールや大会に興味のある方がみえましたら、ぜひ高山リーグをお知らせください。よろしく申し上げます。

(高山市バスケットボール協会公式サイト <http://tabba.jp/>)

(下見英人)

# ぎふ清流国体に向けて



国体成年女子  
岐阜県チーム監督  
打江 謙二

「ぎふ清流国体」バスケットボール競技成年女子の監督を務めることとなりました。

練習時間確保が難しい面が、毎年の課題ではありましたが、最低でも週3回の練習計画を立て、毎年より継続しています。今年度に入り、4月に二泊三日の合宿を行い、さい先の良いスタートができました。5月からは大学やWリーグ、W1リーグ等との練習試合も積極的に行います。

選手には、地元国体の意義や、たくさんの方々の思いを社会人として考え、誇りをもって行動してほしい。勝負にこだわり、最後まで最善を尽くす姿勢を貫いてもらいたいと常々話をしていきます。

現在彼女たちは黙々と練習に励んでいます。きっと地元の皆さんの期待に応えられるような素晴らしいプレーを披露してくれるものと信じています。

最後になりますが、「ぎふ清流国体」バスケットボール競技が一体感の中、思い出に残る感動ある大会となることを祈念しつつ、成年女子も最善を尽くしますので、何とぞ応援宜しくお願い致します。

## 「東日本大震災」被災地復興支援 JOC ジュニアオリンピックカップ 第25回都道府県対抗 ジュニアバスケットボール大会 2012

3月28日～3月30日に行われました第25回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に、岐阜県の代表として高山の選手も参加しました。男女とも予選リーグで敗退しましたが、参加した選手は多くのことを学ぶことができました。

詳しい大会結果については、下記のURLよりご覧ください。  
<http://www.japanbasketball.jp/juniorallstar/2012/>



日枝中学校  
知手千夏

JOCに参加して感じたことは、他県のチームのディフェンスは、すごく足が動いていて、プレッシャーが強いことです。オフェンスは個人の1対1がとても強く、あわせるプレーが上手でした。そんな他県を相手に、岐阜県が予選リーグで1勝できたのは、みんなでディフェンスをがんばってリバウンドをとって、みんなで最後まで戦ったからだと思います。私のチームでも、今足を動かして一生懸命にディフェンスすることを目標にしています。私は、ねばり強いディフェンスと最後まで諦めない気持ちをJOCで学びました。それを自分のチームでもできるように、自分がチームの中心となってみんなを引っ張り、がんばります。



中山中学校  
大坪 翔

JOCに行かせて頂き、1つ1つのプレーを大切にすることを学びました。自分のチームの中では、そのことをあまり気にしていませんでしたが、JOCでは1つのプレーで雰囲気や流れが変わってしまうことがわかりました。これからのバスケットボールでは、1つ1つのプレーを大切に一生懸命にルーズボールを追ったり、仲間を信じてプレーしたりしたいです。



中山中学校  
新井 皓子

短い期間でしたが、県選抜のメンバーとして活動する中でたくさんのことを学ばせて頂きました。小さなことがプレーの成功に大きく関わり、ゲームを左右するを感じました。大会では、上手くいったことも、上手くいかなかったこともあり、今後の課題を見つけることができました。また、多くの人に支えられていることも感じました。ありがとうございました。



中山中学校  
内藤 悠光

JOCに行って、全国の強さと恐ろしさを知りました。全国では、あまりプレーが通用しませんが、そんな中で成功したときの楽しさは、いつもとは違う楽しさでした。全国の舞台上、強いディフェンスをくぐり抜けてシュートを決めたときは、すごく嬉しかったです。今度は、中山全員でそのような舞台に立つために、もっと強くなれるようがんばります。



中山中学校  
垣内 理葉

県選抜のメンバーとして、練習や試合をする中で、いろいろなことを学びました。特に、他県のチームの雰囲気が違うことには驚かされました。そして、当たり前のことを一生懸命やっている選手たちを見て、私もそうならなければならぬと感じました。1つ1つのプレーをもっと大事にやり、チームの仲間と強くなっていきたいです。



松倉中学校  
中家 悠士

僕が県選抜に選ばれ、一番変わったと思うことは、メンタル面が強くなったことです。今までならディフェンスが強いと攻めることをすぐに諦めてしまったり、練習をあれこれ理由をつけて休んでしまったりしてしまったりもありました。しかし、県選抜の練習に参加しメンタル的に強くなれたことで自分から攻めるという意識がもてるようになり、チーム内でも積極的に声を出せるようになりました。これから春季大会や中体連があります。最後の1秒まで諦めずに頑張ります。



松倉中学校  
打江 新

県選に選ばれるだけでも驚いたのに、試合にまで出場する機会にも恵まれるなど、今までにない貴重な経験をすることができました。全国レベルの大会なので、上手な人がたくさん出場していて参考にしたい選手もいました。東京体育館で試合をした時は今までにないほど緊張をしました。県選抜に選んでもらい選抜メンバーと練習や試合ができたことに感謝しています。この県選で経験したことや学んだことを自分のチームにもって帰って強くなります。

# あららぎカップを終えて

第9回あららぎカップが12月27日～29日まで、ビッグアリーナを中心に行われました。男子の部は16チーム、女子の部は24チーム県内外から力のあるチームが集まり熱戦が繰り広げられました。県外チームと多くのゲームを行うことができ、充実した3日間を過ごすことができました。また、あららぎカップが終了した後は、昨年度全中優勝監督の杉浦裕司先生が、高山の選手のためにクリニックをしてくださいました。選手たちにとって、この上ない貴重な体験になりました。

## 大会結果

高山市のチームでは、男子は中山中の8位、女子は中山中の10位が最高でした。結果は下の表のようになりました。  
(左が男子、右が女子)

### [ 男子結果 ]

優 勝：立川第八中学校（東京）  
準優勝：南部中学校（徳島）  
第3位：奥田中学校（富山）  
第4位：伏見中学校（京都）  
第5位：松岡中学校（福井）

### [ 女子結果 ]

優 勝：長良中学校（愛知）  
準優勝：若水中学校（愛知）  
第3位：桜中学校（三重）  
第4位：北部中学校（富山）  
第5位：藤浪中学校（愛知）



## 新人戦県大会上位進出

第34回中学校冬季バスケットボール新人大会が1月8, 14, 15日に関市総合体育館などで行われました。男子の部に中山中学校と松倉中学校が、女子の部に日枝中学校と清見中学校が参加しました。中山中学校が男子の部で第3位、日枝中学校が女子の部で準優勝という結果をおさめました。また、高山市の代表としてふさわしいプレイを見せてくれた中山中学校の大坪翔くん、日枝中学校の知手千夏さんが大会優秀選手に選ばれました。次の大会でも、高山勢の活躍を期待します。

[ 詳しい大会結果については、下記のURLよりご覧ください。 ]  
<http://gifubasketball.com/jhs/>

## 編集後記

いよいよ国体が近づいてきました。会議を重ね国体への準備が進んでいます。会議に参加される方の中には、岐阜から高山まできてみえる方もいます。その方は、会議の時間と同じくらいの移動時間になってしまうこともあったかもしれません。大人から子どもまで多くの人に関わり、多くの時間をかけています。個人の利益のためではなく、バスケットボールや地元高山への想いが、多くの人によって込められている大会です。高山で行われた国体が、多くの人々の心につつまでも心に残る大会になるように、みなさんの力を貸して下さい。そして、みなさんの力で、成功させましょう。

(j.n)